
魔善 ~ R18 ~

工藤将太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔善〜R18〜

【Nコード】

N9676Z

【作者名】

工藤将太

【あらすじ】

具体的に12本勝負の後のお話。

僕の著者名である工藤将太。（分かりずらいんで工藤将太郎にしている。）彼は神の石を手に入れるべくこの世界に来た。

それが、すべての始まりであった。

↓これまでの設定↑（前書き）

なんか、これを見た親友が

「それ、投稿すんなら危ねえよ?」と、言って来たので
本当は年齢制限（R18）のものです。

まあ、僕は18歳じゃないんですが（笑）

本当にグロいのが無理な人にはお勧めはしません。
見たい人だけ、見てくださいね

〈これまでの設定下〉

〈今回は始める前に魔善の語句についておさらいしよう。〉

1、使魔召喚戦

狩人が魔者（主に人間を主食。）と対抗するために独自と言っても良いほど、作り上げた、使い魔を武器にして戦う方法。

2、使魔召喚

使い魔を召喚する方法。

3、武器化・起動場

武器化はそのまんまの意味。使い魔を武器にすることが出来る。使い魔を戻すときは起動場へ戻す。

4、魂の儀式

本作の序盤しか出なかつた使い魔と契約する方法。
契約するには己の魂の半分（2分の1）を使い魔と取引しなければならぬ。そして、何回でも契約は可能。（身体に負担がかかるけど）

5、武装越え（くるすおーばー）

魔善 keep-out!! チェインスターCHANGE編でも多く使われる、

使魔召喚戦のタブー。

魂の儀式で多く使い魔と契約した者に多い。

通常ではならない作動ミスで起こっている最中に使魔召喚、武器化をすると、自分自身の至る所から武器やきぐなどが生え、

悪くて魔者になり、良くて死ぬ。

6、魔者人

魔者と人の間に生まれた子孫。

魂をいくつでも持つており、姿表しが、可能。

7、姿表し

通常であれば魔者人でしかできない、

体力を大幅に使う、呪文。

自分が今何をして、何処にいるのか、などが相手に伝わる。

その代わりに、相手を威圧することが可能。

類義語を覇気と呼ぶ。

（ここから、先はネタバレになりうる可能性があります。）

8、第1の可能性
狩人の統一者、冥王エルリック・ユニバース・ゴット EUGが

この国を滅ぼし、自分だけの独裁帝国を創ろうとする計画。

9、第2の可能性

カラーズ及びび紅による、侵略。初めに狩人と同盟を結び、

チエインスターCHANGE倒団。その後、狩人抹殺及び、狩人本部センターをも、倒団。そして魔者と同盟を結び、侵略する計画。

10、第3の可能性

核（コアと呼び、すべての黒幕であり、すべての中心核。＝真理）によって決定された支配者、光と闇 正義vs闇の戦いで勝利した者が世界を支配することが出来るが、その者が死んだ場合、上のもう一度やるはめになる。

11、第4の可能性

能力者、工藤将太郎が大量の無限石を使い世界を自分のものにしてやろうとする、計画。しかし、実を言うと復讐であってなにかを追い求めている。

12、無限石

無限に力を使うことが出来る。
創るために欠かせないものは未だ不明。

〓これまでの設定上〓（後書き）

ほんとに基本的なことを書きました。何かあったら、質問等
お願いします。

プロローグ(前書き)

まずは、序章から。

プロローグ

人間は脆い。

剣で腹を切ればワタがあふれ、銃で頭を撃てばスイカに麵棒を思いつきり突いたように

果実が飛び散る。殺人もそうだ。刺殺とか…世界の残酷(?)な拷問とかもだな。

拷問 効率よく苦痛を与えるための技術

鞭手枷・足枷・首枷・ラック・掃除屋の娘・親指砕

き器・頭蓋骨粉碎器・長靴

重石責め・吊るし責め・スペインの蜘蛛・ユダの揺り

籠・猫の爪・

鉄の処女・苦惱の梨・異端者のフォーク・鍋責め・

山羊責め・水審

刑罰 いかにして犯した罪を償わせるか

鞭打ち・切断刑・烙印刑・晒し台・バイオリン・

ネックレス・水責め椅子

樽晒し刑・廊下晒し刑・流刑・追放刑・踏み車・

脱衣刑・軟禁刑

処刑 許されざる罪人に苦痛に満ちた死を

088・石打ち・突き落とし・斬首・断頭台・

火刑・煮沸刑・絞首刑・

ガロット・四つ裂き・猛獣刑・吊り籠篋・鋸挽き

・串刺し・車輪刑・

磔刑 ……とかな。

もつと頭使わねえのか…とか。

だけど、俺は違う。

俺、K・シヨルターもとい、工藤将太郎はジエスター王国の王子だったが、隣国のバインド帝国に人質として、捕えられたが、ジエスターは何もせず政治をすすめた。俺はそれが憎かった。いつか復讐してやると。

そこで考えたのが、神の石と呼ばれる無限石（無限に力が使えるため）を自分のものにして、どちら両国滅ぼしてやろうと。

これは、革命だ！

己自身だけがやる、革命。そのため、バインド帝国で剣術、魔術を受けた。それを生かし、俺はその教えてくれた、師匠と戦う羽目になった。

「いいのか？私は魔術を教えた側だ。」俺はそんな会話を無視し、神の石を自分自身の

胸にあてた。（もう、回収済み。）すると、俺が、俺の中にある石が暴走した。

肉が、目が、腸が飛び散った。でもそれは成功だったのだ。石に打ち勝ち、俺の体は再構成。服も新たなモノになり、結界術というのが出来るようになった。

俺はそれで、師匠の腹を裂き、首を切り赤黒い雨を降らした。通りすがった、兵士15人ぐらゐもそのようにした。俺は兵士のまだ血が吹き出るハラワタを口に頬張り、バインド帝国王子の顔に飛ばした。

（その、10才児も通ったので。）そいつは震えあがり膝まついた。頭を踏み、目玉が飛び散りゲラゲラと笑いながら俺は踏み続けた。

ああ楽しい。こんなにも相手の人生を踏みにじることが。

そしてやっと、俺はバインド王国を抜け出した。俺はジェスター & バインドを賢者の石にするべく

陣を張り、発動。遠くから聞こえる悲鳴。

これだけじゃ、まだ終わらない。と、俺は無限石を使って相棒の天
地道不死身ノ助と、共に

違う世界に行くのであった。

行先は、最も戦争、戦いが絶えない国、それが……広一たちのい
る世界であった。

プロローグ（後書き）

どうでしたか？またしばらくの間会いませんがよろしく！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9676z/>

魔善 ~ R18 ~

2011年12月31日01時49分発行